

団体名 南部広域行政組合島尻教育研究所	連絡先 TEL : 098-998-9561 Eメール : makoto0555@nanbukouiki-okinawa.jp
------------------------	--

1 実践事項 「学校課題・コロナ禍に対応した教職員研修の（対面・オンライン・ハイブリッド型）開催」

2 実践内容

(1) 教育講演会

- ①「学校と保護者との良いかかわり方」保護者対応 大阪大学名誉教授 小野田正利 参加者202名
②「子どもたち誰もが行きたがる学校づくり」生徒指導・教育相談 広島大学大学院教授 栗原慎二 参加者183名

(2) 短期研修

- ①小中学校合同研修会「小中学校学習評価研修会」那覇市立さつき小学校 教諭（教職大学院2年次）長元智 参加者25名
②校内研修支援・園内研修支援（小学校2校、幼稚園3園）
③『幼児教育短期研修』基礎・充実・発展ステージ（各2回）園長研修会（1回）
【新規】南部広域行政組合域内市町村教育委員会・福祉部局幼児教育担当者研修会（1回）
④市町村教育委員会連携講座（3回）

	期 日	内 容	主な対象	参加
1	10月26日(水) 15:15～16:45 集合型対面のみ	【内容】乳幼児が体を動かす楽しさを味わう <わくわく運動遊び> ～0歳児から5歳児までの発達段階を踏まえて～ 【講師】沖縄女子短期大学児童教育学科 講師 石垣愛一郎	公私立幼・こ・ 保教諭、保育士	13名
2	11月22日(火) 15:15～16:45 ハイブリッド型	【内容】幼児がかいたり、つくったりすることを楽しむために ～わくわく表現遊び～ 【講師】沖縄女子短期大学児童教育学科 准教授 玉城哲人	公私立幼・こ・ 保教諭、保育士	21名
3	12月6日(火) 15:15～16:45 オンラインのみ	【内容】子どもの困難さに寄り添う保育&わくわくする保育 実践(特別支援教育) 【講師】沖縄女子短期大学児童教育学科 助教 羽地知香	公私立幼・こ・ 保教諭、保育士、 特別支援員等	39名

⑤『小・中学校夏季自主参加講座』(4回)

	期 日	内 容	主な対象	参加
1	7月27日(水)	【講座名】GIGAスクール 【内 容】・GIGAスクールにおける現状 ・ICT活用の事例紹介 【講 師】琉球大学教育学部 准教授 蔵満逸司	中学校教諭 小学校教諭 管理職 教育行政	24名
2	7月29日(金)	【講座名】小学校スタートカリキュラム 【内 容】・幼小の学びの連続性 ・事例紹介 【講 師】沖縄女子短期大学 講師 名渡山よし乃	中学校教諭 小学校教諭 管理職 教育行政	12名
3	8月2日(火)	【講座名】SDGsと教育活動 【内 容】・SDGsにつながる活動のポイント ・事例紹介 【講 師】NPO法人 沖縄NGOセンター 代表理事 玉城直美	中学校教諭 小学校教諭 管理職 教育行政	29名
4	8月17日(水)	【講座名】特別支援教育 【内 容】・チーム支援 ・個別の支援計画 ※事前質問への回答 【講 師】臨床発達心理士 新垣香代子 (琉球大学教育学部附属小中学校スーパーバイザー)	中学校教諭 小学校教諭 管理職 教育行政	31名

(3) 調査研究事業

①研究協力員事業

- 【教科領域・内容】 小学校 特別の教科 道徳
○「主体的対話的深い学び」にむけた授業づくり・評価について
2月20日(月) 新城小 公開授業

【講師】琉球大学 教職センター長 教授 上地完治

【教科領域・内容】 中学校 社会科

- 「主体的対話的深い学び」に向けた授業づくり・評価について
11月4日(金) 伊良波中 参加者 12名
11月9日(水) 南風原中 参加者 11名
11月25日(金) 豊見城中 参加者 13名

【講師】琉球大学 教育学部 教授 山口剛史

②調査研究協力園事業

南風原町立津嘉山幼稚園 11月30日(水) 公開保育 参加者 31名

【テーマ】幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育への円滑な接続を図る。

【講師】幼稚園担当指導主事 稲嶺彰子 沖縄女子短期大学 講師 名渡山よし乃

3 成果

「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「基本的な生活習慣の確立」に関する学校現場の課題に対応した自主参加型、専門家招聘、コロナ感染症対策に係るハイブリッド型形態の研修を幅広く行うことができた。島尻地区学校等のバックアップ的な役割を果たすことができた。

4 課題

昨年度と比べ、自主参加型研修会への参加者が3割以上減った。学校等との連携を密にし、学校現場で今後求められている魅力のある研修会の企画・実施をする。